

目指す児童像 『自分で考え、よりよい判断ができる子ども』

節分

今年の節分は、2月2日でした。豆まきをされたご家庭もあったのではないのでしょうか。最近では恵方巻もCM等で見かけることも多くなってきました。

では、「節分」とは何でしょうか？ 文字通り「季節を分ける」のが「節分」ということだそうです。昨日2月3日は「立春」で、暦の上では「春」の始まりということですから、2月2日が季節を分ける「節分」ということです。

それでは、なぜ節分に豆まきをするのでしょうか。これは昔の中国の行事が日本に伝わって定着したと言われていています。邪気を払う意味があるそうです。

本格的な春にはまだ少し日数がかかりますが、暦の中や身近な季節の変化に春を感じてみてはいかがでしょうか。



入学説明会での話

明日2月5日、本校では令和7年度入学予定の1年生保護者様を対象とした入学説明会を行います。その中で校長として次のような話をする予定です。

一般的に赤ちゃんが生まれて初めて触れ、目にするのはお母さんだそうです。ですから、最初に自分と違う存在として認識するのはお母さんだそうです。そのうち、お母さん以外の存在に気付くそうです。それは家族だそうです。次に、家族以外で自分を気にかけてくれる親戚や近所の人たちという具合に、自分に関わる人たちの認識の幅を広げるそうです。このような人たちは概ね自分より年長で、自分の言うことを比較的聞き入れてくれる場合が多いかと思えます。

しかし、成長とともに、自分と同年代の子との生活が始まり、これまでのように自分の意のままにならないことも多くなります。そして集団生活の中で衝突しながらでも折り合いをつけることを学んでいくと言われていています。

では、小学校ではどうでしょうか。小学校では日課があり、時間で自分の行動を切り替えなければいけません。いつまでも昼休みはできませんし、いつまでも自分の好きな教科はできません。しなければいけないことも増えます。

学校は決して自分の自由気ままに生活できる場所ではありません。様々なルールに基づいて生活を送ることになります。その中で、将来の社会生活を営む上で必要な力を培っていく場所であるにご理解いただければと思います。

学校では保護者の皆様と今できること、今しなければいけないこと、今だからできること等を相談しながらお子様の健やかな成長を育てていきますが、子育てという観点から見ますと、諫早市や長崎県にも子育てに関する相談窓口が多数開設されています。このような窓口も利用されながら充実した子育てをしていただければと思います。

入学説明会の話ですが、入学済のご家庭にも参考になればと思います。